

児童生徒が主体的に学ぶ授業づくり ～エキスパート教員から授業づくりのコツを学ぼう～

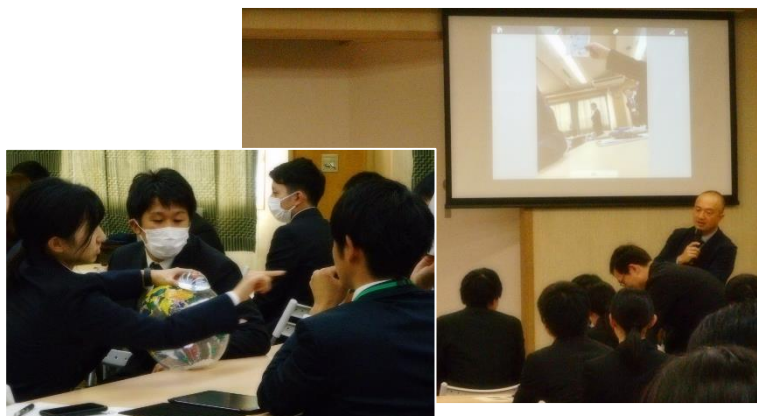
【ねらい】エキスパート教員に日頃の実践を直接聞いたり質問したりすることで、授業づくりや学級経営等のコツを学ぶ機会とする。

令和元年12月26日に開催しました授業改善ワークショップは、12名のエキスパート教員のご協力のもと、59名の先生方にご参加いただき、充実した会になりました。エキスパート教員の授業への思いや実践、児童生徒との関わり方などについて話を聞いたり、実際に模擬授業や日頃の悩みに対する助言を受けたりと、たいへん有意義な時間となりました。

◆今年度は、全体会（前半）、分科会、全体会（後半）という3部構成にしました。全体会（前半）では、実践発表と模擬授業、分科会は5つの部会、全体会（後半）は指導主事による各分科会のまとめと参加者による感想交流を行いました。

<全体会（前半）>

中澤達也教諭（鳥取市立湖山西小学校）には、体育科の授業実践を、岩崎有朋教諭（岩美町立岩美中学校）には、理科の模擬授業を通してICTを活用した学習活動例をそれぞれ紹介していただきました。



共通するポイントとして、教材研究の重要性、児童生徒につけたい力の明確化、児童生徒の学習活動の質を高めるための「しかけや種まき」の大切さを学びました。

<分科会>

5グループに分かれて分科会を行いました。参加希望者の数に応じて、エキスパート教員2名が一つの分科会を担当し、実践等を紹介しました。少人数でグループを編成したため、参加者とエキスパート教員の距離も近く、活発に意見交換ができました。

【分科会A】

小学校国語：小林 信代 教諭（鳥取市立浜坂小学校）

中学校国語：村中ひろみ 教諭（鳥取市立北中学校）



【参加者の感想】

- ・小学校と中学校の2校種の先生方の実践が聞け、自分の視野が広がった。
- ・どの学年でも取り入れられるような活動をたくさん学べて、早く実践してみたいと思った。冬休み明けに授業することにわくわくしている。

【分科会B】

小学校道徳：盛田 里美 教諭（若桜町立若桜学園小学校）
中学校音楽：大広 晴美 教諭（鳥取市立北中学校）



【参加者の感想】

- ・人との出会いを大切にしながら、生徒の人間性を育てていきたい。
- ・冬休みのうちにしっかりと学習指導要領を読み直し、ゴールイメージをもって授業に挑みたい。計画を立てて授業の板書や発問を考えていこうと思う。

【分科会C】

小学校社会：土橋 和彦 教諭（鳥取市立湖山小学校）
中学校社会：大島 泰文 教諭（鳥取市立湖東中学校）



【参加者の感想】

- ・常にアンテナを張って、日々の生活の中から教材を見つけることをしたい。教科書を読み込み、実践したい。
 - ・教科書から、WHYの流れ(*)で授業を作っていく、実践したい。
- (*) WHYの流れ：「何を・どのように・なぜ」を意識して発問を考え、授業を構成していくこと。

【分科会D】

小学校外国語活動・外国語：山根 裕子 教諭（鳥取市立宝木小学校）
中学校保健体育：田中 麻子 教諭（鳥取市立南中学校）



【参加者の感想】

- ・まずは、自分がやってみること。「〇〇をやってみよう。」
「〇〇をこの授業の最後にできるようにしよう。」はいつも言ってきたが、それを自分が実際にやって見せたことはなかった。3学期からやってみようと思った。
- ・今の自分のクラスを思い浮かべて話を聞く中で、もっとこうしたら...と思う部分がたくさんあった。少しずつ実践できることからやっていきたい。

【分科会E】

中学校美術：河本 俊顕 教諭（鳥取市立青谷中学校）

中学校数学：神波 徹 教諭（鳥取市立東中学校）



【参加者の感想】

- ・限界を決めず、幅を広げ、教材研究をしていきたい。学ぶ姿勢や学び方は、学習の難易度に関係ないので、その姿勢を授業の中に入れていきたい。
- ・授業に対する思い、熱意がよく伝わってきた。教師が楽しまなければ、生徒に楽しさは伝わらないなど感じた。

<全体会（後半）>

各分科会のまとめとして、指導主事が2分程度で報告を行いました。校種、認定分野が違っていても共通する点や大切にしていることなどを、短い言葉でまとめています。右のように要点を整理しました。

最後に、参加者同士で学びを共有する時間を取りました。たくさんのインプットが行われたワークショップで、何を学び、何を実践してみようと考えたのかをアウトプットすることで、学びを整理し、これからすべきことを焦点化することができたようです。参加者の皆さん、エキスパート教員の皆さんの表情が緩み和やかな感想交流のひとつとなりました。その姿から、積極的に学ぼうとする姿勢やより良い実践をしていきたいという意欲が感じられ、冬休み明けからの授業づくり、児童生徒との人間関係づくりにつながるまとめとなりました。

分科会 A

分科会 B

分科会 C

Aグループ 小国・中国

国語、楽しい!

ねらいを明確に
ゴールイメージの提示

誰に、どんなものを
ねた。引き出しを多く
言葉を楽しむ
子どもが主役

学級経営

授業

継続

環境が (B)
人を育てる
(教材と生活をつなぐ)

どっぴりと
社会科にひたる

〈共に学ぶ〉 〈楽しむ〉

・公開授業 ・教材作り
・勉強会 ・教材収集
他の教員と学ぶ... 資源回収...
↓
社会科のプロ
フェッショナルへ
↓
エキスパート教員の魅力
〜定み続ける、探し続ける...

分科会 D

分科会 E

GOAL

楽しむ

背中で
are3

学級経営

モチベーション

リーダ育成

いづり

集団賢化

UD

日常と大域

学びの根拠

アポイント

・ゴールの明確化
・めあて、見通し
必然性

・子どもを大切に
・楽しむ、喜び、真剣

笑顔と情熱
たわい



冬期休業中のワークショップでしたが、積極的なご協力、ご参加ありがとうございました。今回いただいたご意見を参考に、来年度のワークショップも充実させていきます。東部教育局では、東部地区の先生方の授業力の向上や授業改善につながる機会の提供、情報発信を今後も行っていきます。

